１８生　年次通信

福島県立いわき光洋高等学校
１８年次通信　　No.16
令和　元年　　９月　　２日

始業式で校長先生は「①甲子園で活躍した鶴岡東高校はレギュラーも補欠もスタンドもマネージャーも、『それぞれが**自ら考え、自分が属する集団の役に立つ**』という意味で全員野球を徹底している。②社会学者の見田宗介さんの著書から、「レーニンは『オムレツを作るには卵を割らなければだめだ。』と、理想のためには外部からの強い力が必要だというのに対し、ダグラム・ラミスは『卵は内側から破られなければならない。』と**自分から**殻を破らなければ権力者のオムレツとして食べられてしまうと言った。」という二つの話をされ、これからの社会を生きていくために、本校の校訓「三自の精神」の大切さを改めて喚起しました。

社会の構造が大きく変化している現在、企業に人材育成の余裕が薄れ、その役目は大学へと要望されています。つまり社会の即戦力となることが求められているのです。そして入試問題はそのメッセージとなり、高校生へと影響を及ぼしています。日頃から社会の、世界の様々な問題に関心を持ち、グローバルな視点で物事を考え、**新たに自分にできることを自ら実践していくこと**が必要であり、君たちの力でそれは本当にできると思うのです。

気になるワード
調べてみて
無料スーパー

修学旅行～沖縄から学ぶこと～

8 月 29 日の LHR では沖縄戦についての DVD を視聴しました。スクリーンに食い入るように見ている皆さんの様子を見て、修学旅行で沖縄に行く意味をもう１歩踏み込んで考える準備ができていると感じました。同じ日本でありながら沖縄が抱えている問題を、背景にあるさまざまなものと関連付けてを私たちも考えていかなければならないのです。例えば…

なぜ沖縄に米軍基地があるのか

在沖米軍基地は沖縄戦で設置した米軍の基地をそのまま使用しているものが多い。基地が沖縄に固定化した理由は日米安全保障条約を結んだことにある。この条約のために米軍は基地を継続使用できることになり、有事の際は日本防衛の義務もある。ではなぜ日米安保が必要なのか。現在の日本の憲法のもとでは自衛隊だけでは日本を守れないと考えてられているからだ。

この問題を考えるには国際・政治・歴史・法律・環境・文化・教育・経済などの分野の知識が必要となります。いろいろな立場から客観的に、そして人任せにせず、今後の日本の在り方を考えてみてください。

学習ガイダンス（先輩講話）

８月 30 日（金）の 5.6 校時に本校の卒業生 20 名による、分科会形式の学習ガイダンスが行われました。

現役大学生から具体的な生活や学びに関する話を聞き、漠然とした大学へのイメージが明確になったと思います。夏休み中に参加したオープンキャンパスと合わせ、進路意識の向上に繋がることを期待します。

９月の行事予定

８日（日）年次 PTA
９日（月）～13 日（金）
　　第２回面接週間 45 分授業
12 日（木）⑥⑦交換
18 日（水）修学旅行事前健康診断⑤⑥
19 日（木）生徒会役員選挙　45 分授業
２０日（金）甲状腺検査
26 日（木）月曜日の授業
28 日（土）ＰＴＡ奉仕作業
　　保護者向け進路講演会
30 日（月）修学旅行結団式①②放課